

# 新聞掲載

奄美新聞 R4.12.21

## 本は命のかけら



東城小3年 林 那乃

「奄美大島の自然」の本は、わたしが一年生のときにはじめて読んだ「世界の産学習まんが」です。読んだきかけは先生がみんなよくほめてくれたことです。

本のすきな場面は、ケンムンとしゅんとじい男の子がすもうをしたことです。しゅんが、ケンムンと組み合っている時にかえるをみてしまつたことですが、そのかえるをたすけたところが、まさしくいいなと思つたからです。まんがを読んで、いろいろな本があるのを知つて、もっと本を読みたいと思ひました。

小さいときからすきた本は「えがかないえほん」です。文字だけでもいろんな言葉があつておもしろかつたので、おうちの人に何度も読んでもらいました。

今は、先生や友たちが本をさがしているとき、図書室のどこにあるかほとんど分かります。毎日、本を読まないといわれません。みんなに物知りと言われてうれしいので、これからたくさん本を読んで、小さい子たちにも教えてあげたいです。

## 私の学校自慢



東城中2年 厚 歩夢

私の学校には、よいところがたくさんあります。その中から、特に自慢できるところを二つ挙げます。

一つめは、小中併設校であることから、小学生、中学生がとも仲がよいことです。昼休みにサッカーをして遊んだり、話をしたりして楽しんでいます。また、小学生が困っている時は話を聞いたり、アドバイスをしたりしています。私は、小学生と一緒に過ごす時間が大好きです。

二つめは、地域の方々と交流することです。これからもいくなすきな学校を誇りに、よりよい学校にできるよつこしていきたいと思います。

するじょうがでできるJASです。運動会や学習発表会などは、保護者だけではなく、たくさんの方々の地域の方々も見に来て、励ましてくれます。また、運動会に向けて八月踊りを地域の方々が教えてくれ、当日も私たちと一緒に踊って盛り上げてくれます。小規模校ですが、地域の方々も一緒になつて行事を盛り上げてくれるので、有意義な時間を過ごすことができます。

これからもいくなすきな学校を誇りに、よりよい学校にできるよつこしていきたいと思います。